

佐賀大学楠葉同窓会



なんよう



No.108
2018.12.10

平成30年度楠葉同窓会総会を開催



平成30年5月26日(土)16時から佐賀ワシントンホテルプラザにて、「平成30年度楠葉同窓会総会」が開催されました。

総会では、江口楠葉同窓会長の挨拶の後、平成29年度事業・決算についての報告があり、引続き平成30年度事業計画案・予算案について審議し承認されました。

そのなかで、ホームページの更なる活用を前提とした会報誌「なんよう」の発行回数の検討、及び「同窓会員名簿」を学生がどの程度活用しているか把握するためのアンケート調査の検討が今後の議題としてあがりました。検討内容については随時報告します。



平成
30年度

楠葉同窓会交流会・懇親会開催



佐賀大学経済学部と楠葉同窓会の交流会・懇親会は、平成30年10月27日に経済学部4号館及び佐嘉神社記念館で開催されました。

交流会では学生による実践インターンシップの報告、ゼミ連活動研究内容の報告が行われました。実践インターンシップの報告では、就職活動を控えた学生にとってインターンシップがいかに大切かが良く分かり、ゼミ連活動研究内容の報告では各ゼミの特徴が良く分かる発表をして頂きました。

その後、会場を移して行われた懇親会は、来賓として大学から中村博和経済学部長、佐賀大学同窓会及び各学部同窓会の代表にも出席いただき盛大に開催されました。

懇親会実行委員会百武実行委員長の挨拶、佐賀大学同窓会の川副会長の乾杯でスタートした会は、実行委員の皆さんの楽しい進行でなごやかに進み、YOSAKOI「佐賀大学嵐舞」による演舞、学生歌・巻頭言の斉唱でクライマックスを迎えました。参加者の皆さんは青春の思い出や近況報告に話が弾み、時の経つのを忘れ楽しいひとときを過ごすことができたようです。



今回の懇親会は平成2年入学の実行委員の方により準備を進めていただきました。百武実行委員長を始め実行委員の皆さんの御苦労も多かったと思いますが、盛大に開催できたことに書面を借りてお礼申し上げます。

坂本 裕三（経済・昭62入）



参加者
交流会 同窓生43名 学生45名 合計 88名
懇親会 同窓生98名 学生62名 合計160名

楠葉同窓会交流会に参加して

ゼミ連・岩本ゼミの活動について

経済学部 経済法学科 3年 中原 梨緒



私は、経済学部の学生で組織しているゼミナール連合会（以下、ゼミ連）に所属しています。ゼミ連では、オープンキャンパスで大学生活を高校生に紹介したり、全九州学生商経ゼミナール大会という九州内の7つの大学が参加する討論大会の運営をしたりなど、学内外で活動しています。

私は、今回の交流会で、岩本ゼミの紹介をしました。岩本ゼミは、消費者法を研究するゼミです。このゼミの特徴は、机の上の勉強だけでなく、ゼミで学んだことを外へ発信する活動が多いということです。具体的には、中高生向けの消費者教育テキストの作成や、佐賀消費者フェアというイベントで消費者トラブルの啓発劇の発表、人工いくらをつくるという体験型の企画などが挙げられます。これらの活動を通して、自分が学んでいることを地域に還元できることが岩本ゼミの魅力だと思います。

今回の交流会では、インターンシップに参加した学生の発表も聞くことができ、仕事についての理解を深めることができました。また、その後の懇親会では、学生同士ではもちろん、卒業生の方々とも話することができ、非常に有意義な時間を過ごすことができました。私は、1年生から毎年この楠葉同窓会に楽しく参加しています。このような素晴らしい会に毎年参加させていただけることに感謝いたします。

実践インターンシップの報告

経済学部 経済学科 4年 小島 千佳



私は、8月27日から31日の5日間、木村情報技術株式会社様の課題解決型実践インターンシップに参加させていただきました。「AIを活用した、就活生と企業の最適なマッチング方法の検討」という課題をいただき、参加メンバー5名全員でアイデアを出し合い、最終日に提案を行いました。最上級生としてみんなを引っ張っていこうと意気込んでいましたが、人生初のインターンシップだったので、初日はとても緊張し、積極的になれませんでした。しかし、社員の皆様が温かく受け入れてくださったおかげで、肩の力がぬけて、メンバー同士のコミュニケーションも増え、最終的に短い時間の中で提案を形にすることができました。インターン期間中、中間報告会・最終報告会で社員の方々から発表のフィードバックをいただく機会があり、ビジネス目線と学生目線のギャップを強く感じましたが、背伸びしすぎずに、学生目線をもっと大切にしたい提案ができたならよかったかなと今になって思います。楠葉同窓会交流会では、先輩方に、報告に関してだけでなく今後につながる貴重なアドバイスやお話をいただき、勉強になることばかりでした。インターンシップでの経験と、交流会でのアドバイスを大切に、今後の学生生活や就職活動、さらにその先まで励んでいきます。本当にありがとうございました。

『佐賀大学楠葉同窓会40年史』の編纂

昭和54年5月に旧文理・経済・理工の三学部同窓生により組織された楠葉同窓会は平成31年3月末に満40年を迎えます。楠葉同窓会ではこの間に、理工学部同窓会の独立や佐賀大学同窓会の組織化、文理世代から経済世代への役員交代など、幾つかの節目を経ながら、組織体制を充実させるとともに多様な活動を行ってきました。

40周年を期に『佐賀大学楠葉同窓会40周年史』を作ることになり、文理世代の役員経験者を中心に編纂委員会が組織され、平成29年度から2年がかりで作業が進められています。

全体は4部構成で、①前史：文理学部同窓会の取り組み、②楠葉同窓会の事業別通史、③歴代会長期

別活動の歩み、④資料編、となっています。

平成29年度は書庫に眠る膨大な文献・資料の分類・整理を行うなかで『40年史』の構成の取り纏め作用を、平成30年度は前史から事業別通史へと逐次、編纂作業を行なっています。

来年3月末には、本部用の詳細な事項が記載された原本（仕様はA3縦組で横書、約200頁）を取り纏めの予定です。なお、一般会員向けには来年秋に70～80頁に収めたダイジェスト版の発行を予定しています。ご期待下さい。

（編纂委員会代表世話人 長 安六）
（文経・昭40入）

市内案内

学生定食屋

「宇良辺」



営業時間：11時から21時30分
(日曜は15時まで)

店休日：不定休

駐車場：店の北東側と南側にあり

画作品が展示されるなど、店の雰囲気は確かに変わっていますが、料理の味は以前のまま。「とり唐」をいただいてきました。外はパリッと、中はジューシーな唐揚げをメインに、サラダ、みそ汁付きで650円。實岡さんによると、料理のレシピは以前のものを使っているものの味が変わったという常連さんもいらっしゃるから、毎日、試行錯誤されているとのこと。また新メニューも考案中ということでしたので、乞うご期待！近くへお越しの際には、ぜひお立ち寄りください。学生時代の気分に戻れること、確実です。(量が半端ないので、大人の皆さんには、まずは「とり唐“ミニ”」をお試しされることをお勧めします)

坂田 智宏 (経営・昭58入)

皆さんは覚えていらっしゃいますか。昔、佐賀大学正門前にあった定食屋「さち」のことを。「A定」「B定」といった日替わり定食、それから「とり唐揚げ定食（通称：とり唐）」、二日酔いの体に優しい「牛すじちゃんぽん」等、どれもボリュームたっぷり、私も学生時代（実は今も時々、娘や息子のような若者達に交じって、平日の昼間にお邪魔しておりますが（笑））、昼食／夕食に足を運ぶなど、胃袋を驚かされていた一人です。食後の食器は自分で専用カウンターへ、支払い方法もユニークで、食後にカウンターに置かれた横長の木箱へ代金を入れて、おつりが必要であれば、横に置いてある釣銭(100円玉や50円玉)から自分で取るという完全セルフ方式。心無いお客さんが、おつりを多めに持っていかないのか、はたで見ている方が、ひやひやしていたものです。

そんな同店は大学前の道路拡張に伴い、10年ほど前に現在の大学の東側の今の場所（佐賀市鬼丸町492-1）へ移転されました。それを契機に店名も「さち」から現在の「宇良辺」へ。今は留学生の多様化に合わせ、ハラル料理も提供されています（市内の定食屋さんで提供されるのは同店ぐらい?）。その後も店主が一人で切り盛りされていましたが、今年8月、健康上の理由で店主が引退、その後を佐賀大学経済学部出身で、佐賀市内で飲食店を営まれていた實岡（じつおか）庄平さんが引き継がれました。

店内に入ると、以前は学生の卒業式や振り袖姿の成人式などのスナップ写真が貼られていた壁は白一色に、佐賀大学生の絵



支部だより

5月12日 熊本支部総会に出席

平成30年5月12日(土)メルパルク熊本で開催された熊本支部総会に出席しました。第3回目であり、来賓を含め約60名の出席で年々参加者も増え盛大に開催された。

当初、情報交換会が行われ、会員2名から「産業用ロボットに関して」と「熊本県の社会教育について」の講話がなされた。他支部にない取り組みであり、その後の懇親会での話題づくりにもなり、他学部との交流も活発に行われた。また、出席者全員のテーブルスピーチが行われ、「自社の重要なクライアントの社長さんであることが判った」と早速、名刺交換をされている姿も見られた。楠葉同窓会の会員は約500名が熊本県に在住されていることであったが、出席者は以下の11名であった。

阪井大文 (40卒文理)・寺嶋健 (40卒文理)・嶋田久義 (51卒経済)・高口義幸 (53卒経済) 米村好史 (57卒経済) 朝田伸也 (57卒経済)・小笠原長昭 (57卒経済)・下川信行 (58卒経済)・鳥井薫順 (H5卒経済) 遠山眞浩 (H21卒経済)・吉山友衣 (H25卒経済)



江口 洋一 (経済・昭44入)

6月30日 ◀ 沖縄支部懇親会に出席しました

6月30日(土)前日に台風が発生し、飛行機の運航が気にかかる事になったが、本部からの出席者も急遽早い便に変更するなどの対応をはかり、全員出席することができた。支部の出席者は14名で、そのうち楠葉の人が10名であった。伝統的に楠葉沖縄支部が発展したもので、今後全学部に参加者を拡大していきたいとの平良支部長(42入経済)の話であった。また、沖縄で開催されている「青春寮歌祭」にも佐賀大学を代表して参加したいとのことで、全員で学生歌・巻頭言および「南に遠く」の練習がなされた。もちろん踊りを含めてである。



その他、読売新聞に掲載された「佐賀大学」広告記事から、大学運営に関する提案をいただくなど、沖縄の人たちの母校愛・郷土愛が強く感じられる懇親会であった。

楠葉同窓会からの出席者

中村義光(40年入)・平良克次(42年入)・宮国栄(43年入)

与那城良光(44年入)・平田龍一(45年入)・細原諭(46入)

川勝孝幸(46入)・黒島師範(47年入)・樋口淳一(51年入)

新崎隆(平成4年入)

江口 洋一(経済・昭44入)

7月27日 ◀ 佐賀市役所支部総会・懇親会

平成30年7月27日(金)18時15分から、「ホテルマリタレ創世」において、佐賀市役所支部総会・懇親会が開催され31名の会員の参加がありました。

佐賀大学からは宮崎学長をはじめ4名、同窓会本部からは川副同窓会会長、宮尾友朋会会長、江口楠葉同窓会会長、水田農学部同窓会副会長、穂屋下理工学部同窓会会長、西村医学部同窓会会長の6名が来賓として出席されました。

佐賀市役所支部は再スタートをして6年目を迎えましたが、参加者が少ないことも有り、「今後、会員や参加者増を図りたい。佐賀大学とは連携を図っていきたい。」などの話があったところです。

懇親会では、藤田支部長のあいさつ、宮崎学長、川副同窓会会長の来賓あいさつの後、懇談に入り、会員同士、会員と大学、同窓会メンバーとの意見交換などで会話が弾んでいました。西川 末実(経済・昭49入)



9月29日 ◀ 神埼地区会 第4回総会・交流会に参加

去る9月29日(土)に佐賀大学同窓会神埼地区会の第4回総会・交流会に参加しました。

同窓会本部からは、宮尾副会長はじめ7名(うち3名は神埼地区会員)が出席し、楠葉同窓会からは、西川が出席しました。佐賀大学同窓会の金丸前会長をはじめ地区会員27名(楠葉同窓会会員4名)の計31名の出席で17時から総会、17時30分から交流会が開催されました。



総会では、古賀神埼地区会会長、宮尾同窓会副会長あいさつ、卒業生2名による近況報告、規約改正、役員改選、活動報告が行われました。その後の交流会では、それぞれが和気あいあいの中楽しい一時を過ごしました。

今後とも、神埼地区会を継続・発展させていただければと思っております。西川 末実(経済・昭49入)

10月13日 ◀ 筑後支部総会に参加

10月13日(土)に開催された筑後支部総会に出席した。これまで諸都合で欠席をしていたが、筑後支部には、楠葉同窓会の元会長梅崎正道氏がおられるし、本部での交流会・懇親会では、巻頭言を担当してもらっている福田和夫氏(昭和29年文理卒…86歳)や乾杯の音頭をもらっている秋原泰男氏(昭和38年文理卒)もおられることでやっと出席できたことはよかった。佐賀からは1時間程度の水郷柳川の「白柳荘」で開催されたが出席者は22名で、「佐賀大学が育んでくれた海洋温度差発電に学ぶ」の演題で講演をされた佐賀大学教授の池上康之氏(昭和61年理工卒)も筑後出身とのことであった。総会では、長年教育界で活躍された秋原泰男氏の「瑞宝章」受章が報告され、参加者から祝福の言葉がかけられた。懇親会も学部を問わず和やかに交流され最後は福田和夫氏「巻頭言」で閉められた。

楠葉同窓会からの出席者

福田和夫(29年卒)・梅崎正道(37年卒)・吉田寛(38年卒)・秋原泰男(38年卒)・野口秀樹(49年卒)・

大津数也(49年卒)・江崎秀幸(49年卒)・高崎祐二(57年卒)・平野恵美子(58年卒)・中島政弘(61年卒)・

津留薫(62年卒)・大津陽一(62年卒)

江口 洋一(経済・昭44入)



訃報

諸泉 俊介



平成30年 6月21日 御逝去されました。

[略歴]

昭和50年 3月 佐賀大学経済学部経済学科卒
 昭和63年 4月 九州大学経済学部 助手
 平成 9年10月 長崎大学経済学部 助教授
 平成12年 4月 佐賀大学文化教育学部 助教授
 平成15年 8月 同 教授
 平成24年 4月 同 全学教育機構 教授
 平成29年 3月 同 定年退職
 平成29年 4月 放送大学 佐賀学習センター所長
 平成29年 4月 佐賀大学楠葉同窓会 理事

事務局日誌 (・印は佐賀大学同窓会、○印は楠葉同窓会、無印は母校佐賀大学)

- H30. 4. 1 ○楠葉同窓会会報「なんよう」107号発行
 ・佐大同窓会 全学・各学部ホームページリ
 ニューアル
 3 佐賀大学入学式 (一般・編入学・外国人留学
 生合わせて1,724名)
 4 全学部 新生オリエンテーション
 11○楠葉同窓会 会計監査
 12・佐大同窓会「第1回代表役員会」/「菱の実会
 館」多目的室
 19・佐大同窓会「春期定例役員会・懇親会」/「菱
 の実会館」多目的室・かささぎホール
 25○楠葉同窓会「役員会」
 5. 10・佐大同窓会 会報「楠の葉」編集会議
 12・佐大同窓会 熊本支部会総会・懇親会/熊本
 市 メルパルク熊本
 17・佐賀大学と佐大同窓会との意見交換会/「菱
 の実会館」多目的室
 25○楠葉同窓会40周年記念誌編集会議
 26○楠葉同窓会 総会・懇親会/ワシントンホテル
 6. 14・佐大同窓会「第2回代表役員会」/「菱の実会
 館」多目的室
 30・佐大同窓会沖縄支部会総会・懇親会/ホテルサ
 ン沖縄
 7. 1・佐大同窓会会報「楠の葉」No29号 発行
 3○楠葉同窓会40周年記念誌編集会議
 4○楠葉同窓会「役員会」
 27・佐大同窓会佐賀市役所支部会総会・懇親会/
 マリタール創世
 27 佐賀大学就職支援ヒアリング (経済・理工・
 農学) 30 佐賀大学就職支援ヒアリング (教育・芸術地
 域デザイン)
 8. 2・佐大同窓会「支部強化部会」/「菱の実会館」
 小会議室
 29○楠葉同窓会「役員会」
 9. 7○楠葉同窓会40周年記念誌編集会議
 12○楠葉同窓会「会報編集会議」
 29・佐大同窓会神埼地区会総会・懇親会/菊水
 10. 9○楠葉同窓会40周年記念誌編集会議
 10○楠葉同窓会「役員会」
 11・佐大同窓会「第3回代表役員会」/「菱の実会
 館」多目的室
 11・佐大同窓会「学習会」/「菱の実会館」多目的室
 講師 芸術地域デザイン学部
 学部長 小坂智子 先生
 13・佐大同窓会筑後支部会総会・懇親会/白柳荘
 (柳川市)
 17・佐大同窓会キャリアデザイン講座/石原 紳
 一郎氏 (理工学部卒)
 18・佐大同窓会「秋期定例役員会」「懇親会」/
 「菱の実会館」多目的室
 20 佐賀大学大学祭
 24・佐大同窓会キャリアデザイン講座/米谷典子
 氏 (文化教育学部卒)
 27○楠葉同窓会 交流会・懇親会/経済学部4号
 館・佐嘉神社記念館
 29・佐大同窓会会報発行部会 編集会議/佐賀大学
 「菱の実会館」
 31・佐大同窓会キャリアデザイン講座/岩田将嗣
 氏 (経済学部卒)

編集後記

日に日に秋が深まっていくのが感じられるようになりました。私事で恐縮ですが、今年は佐賀インターナショナルバルーンフェスタの一斉離陸、灯りが灯された唐津くんちの宵山と迫力あるお旅所への引き込みなど、久しぶりに本県が誇る秋の2大イベントを堪能することができました。特に宵山は知り合いから、とっておきの鑑賞場所を教えてもらっていたおかげで、14台全ての山がエンヤ、エンヤの掛け声と笛の音とともに通り過ぎていくのを、ほんの間近で、目で、耳で感じる事ができました。

11月も中旬以降になれば、紅葉のはじまりです。基山町の大興善寺、神埼市の九年庵、唐津市厳木町の環境芸術の森、武雄市の御船山楽園、多久市の西溪公園などなど、県内至る所に、紅葉の名所が点在しています。どこに行こうか、迷っているところですが、皆さんも是非、この機会にお近くの紅葉の名所へ足を運んでみませんか。

坂田 智宏 (経営・昭58入)

発行 佐賀大学楠葉同窓会
 佐賀市本庄町 佐賀大学菱の実会館内
 TEL 0952-23-1253
 FAX 0952-25-5700
 E-Mail: dousoukai@sadai.jp

発行者 江口 洋一 (経済・昭44入)
 編集 松尾 和俊 (経済・昭58入)
 代表者
 郵便振替 [01760-9-25635]